

冒険心が飛翔する“100人の戯空間”

〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-27 周防町ウイングス6F

TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312

ウイングフィールド公式サイト URL <http://wing-f.main.jp/>

ウイング フィールド

ウイングカップ再演大博覧會

作・演出 / 森岡拓磨



4/10(金) 7:30

11(土) 11:00

3:00

7:00

12(日) 1:00

5:00

「We are lucky friends」

出演 / 劇団冷凍うさぎ

料金 / 前売 2,500 円 当日 2,800 円 高校生以下 1,000 円 (要証明)
他各種割引有

ウイングカップ再演大博覧會

作・演出 / 丸蟲御膳末吉



18(土) 3:00

7:00

19(日) 11:00

3:00

「行進曲ゲルニカ」

出演 / 右脳中島オーボラの本妻

料金 / 前売 2,000 円 当日 2,300 円
おかけ割 (リピーター割) 500 円
(当公演のチケット半券提示で 2 回目以降 500 円)

ウイングカップ再演大博覧會

作・演出 / 繁澤邦明



24(金) 7:30

25(土) 11:30

3:30

7:30

26(日) 11:30

3:30

「ANCHOR」

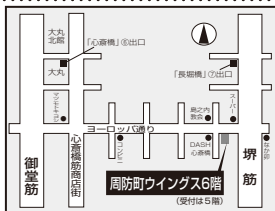
出演 / うんなま

料金 / 前売 2,800 円 当日 3,300 円
うんなま初観劇割 1,000 円

※新型コロナウイルスの影響などで公演が変更になる場合があります。
ご了承ください。

次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。

す おう まち
周防町ウイングス



ウイングカップ 10 受賞団体決定と ウイングカップ再演大博覧會開催

【最優秀賞】	該当なし
【優秀賞】	点減して冬「まつげにかかる灰」作・演出：和田見慎太郎 中野坂上デーモンズの憂鬱「髓」作・演出：松森モヘー
【スタッフワーク賞】	今からひっくり返す「破廉恥パーティー」作・演出：小林夢祈
【俳優賞】	吉川幸宏 (TEAM GEKIYAKU「初期実験 (first experiment)」出演)

節目となる 10 度目の開催となった若手劇団の為の演劇祭「ウイングカップ」は 7 団体が参加。今年は大阪、京都、神戸や、近畿圏外からの出場団体、高校生を中心とした団体の参加など、作風のみならずバラエティーに富んだラインナップとなった。後夜祭では受賞団体の発表と講評会、そして質疑応答の時間が設けられ、参加者と審査員の間で受賞結果や内容、そして演劇創作方法等に関しての討論も活発に行われた。

優秀賞に選ばれた「点減して冬」は、若手でありながら介護の現実とそこから紡ぎだされる会話を丁寧に描いた戯曲への評価が集まり、審査員の中には戯曲賞を新設すべきとの評も上がった。しかし作品全体としては演出の丁寧さに関して疑問が残り、最優秀賞は逃した。

同じく優秀賞に選ばれた「中野坂上デーモンズの憂鬱」は東京からの参加。作者の脳内から繰り広げられる劇世界が圧倒的なスピード感をもって観客を引き付ける。俳優の力量も高く評価され、審査会でもクオリティは他団体から頭一つ抜けているとの評が集まった。しかし物語の構成において目新しい部分に欠けるとの評もあり、こちらも惜しくも最優秀賞は逃した。

スタッフワーク賞を受賞した「今からひっくり返す」は、現役の高校生が中心の団体。劇場空間全面を教室に置き換え、俳優と観客とのボーダーを取り除いた上演形態。審査会では最優秀賞に推す声も出た。俳優賞を受賞した吉川幸宏氏は近畿大学の学生で、作家として二つの物語を行き来する青年が凶行に至るまでを柔軟に演じた技術力が評価された。

「劇団三日月」はウイングカップに二年連続での参加。今作は戯曲、演出面で前作よりも積み上げがあり受賞を推す声も出るなど評価を得たが、キーとなる道具である拳銃の扱いや、物語における矛盾点等も指摘された。

「劇団スターダスト日本」は上演時間 3 時間の力作。田舎町にあるカレー屋で起こる家族と透明人間の物語を描いた作品。後半に向かって集約されていく展開への評価は高かったが、上演時間と物語のバランスをもう少し考えて上演すべきとの評。

「TEAM GEKIYAKU」は京都アニメーション放火殺人事件を下敷きに、一人芝居で「物語」の世界と「現実」が次第に融合していく中での人間の心根を描いた硬派な作品。もともと 2 作品として上演予定だったものを 1 作品にした事で、バランスをやや欠いた上演となってしまった事が悔やまれた。

「劇団冬の甲子園」は絶大な人気を誇るマジシャンと、子役としてブレイクしたが現在は鳴かず飛ばずである俳優が入れ替わる事から物語は展開していく。オープニングの脱出マジックから入るシーンはワクワクしたが、以降のストーリー展開が都合よく進められている点が指摘された。

3 月から開催する「ウイングカップ再演大博覧會」では、過去に最優秀賞を受賞した団体のみが受賞作品を中心に再演する。この区切りを経て、引き続き観客の皆様にとって新しい才能の萌芽を感じられる演劇祭として続けて参ります。今後とも若手劇団へのご声援の程宜しくお願いいたします。

橋本匡市 (ウイングフィールド企画主任)